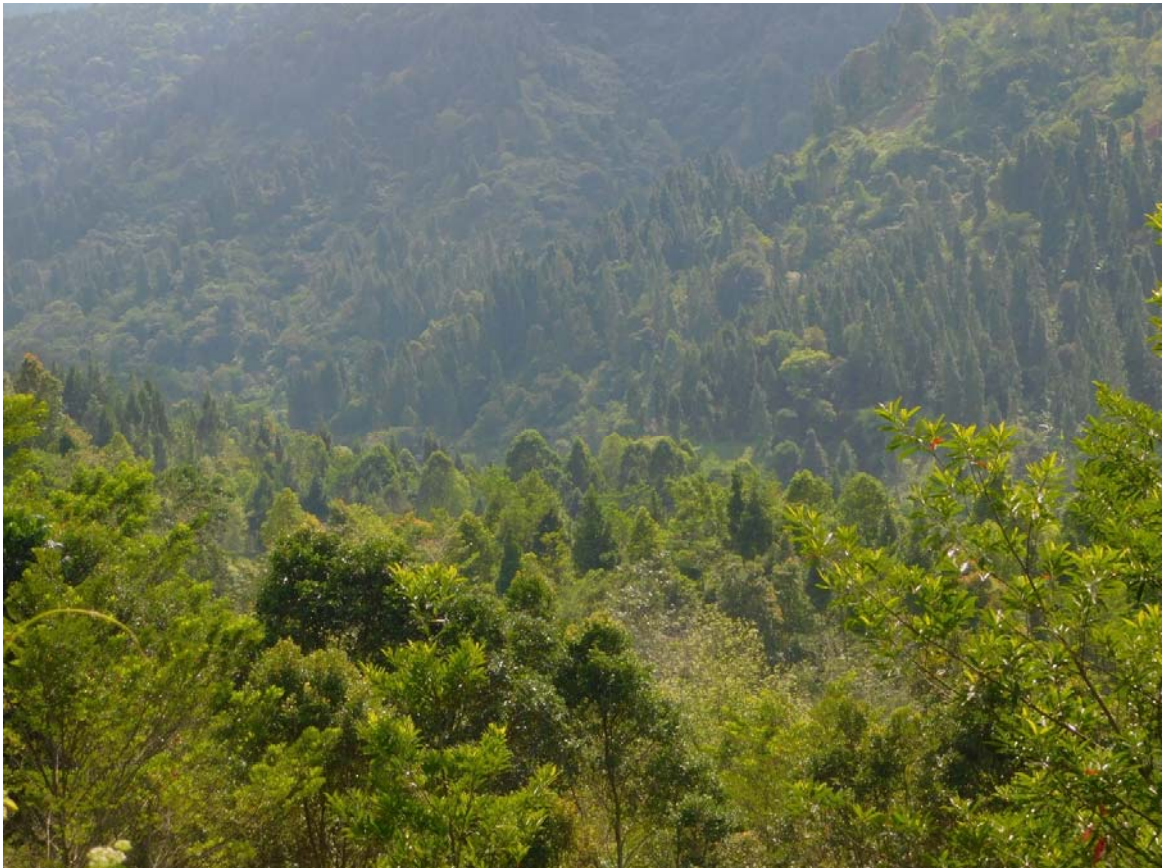


インドネシア
「グリーンウォール」の普及と拡大
現地からのお便り（2021年7月～2022年6月）

2022年8月
コンサベーション・インターナショナル



グリーン・ウォール・プログラムにより再生された森

グリーン・ウォール・プログラムの14年目

グヌングデ・パングランゴ国立公園での活動は2008年に開始し、14年目を迎えました。プロジェクトでは上流域の森を地域コミュニティと協力して再生する「グリーン・ウォール」プログラムを進めています。これまでに約120,000本の木が300haに植林され、地域に緑が蘇ってきています。

2021年から2022年にかけては、これまでに再生した森のモニタリングやメンテナンス、地域コミュニティ対象の活動を継続して行いました。

これまでに再生した森のモニタリング

プロジェクトでは、植林サイトのモニタリングを継続して実施し、天候や害虫、周辺コミュニティでの活動の影響などを確認しています。モニタリングは毎月国立公園レンジャーおよび地域コミュニティと協力して実施するほか、年に1度植林した木の成長を測るデータ収集を行っています。

今年度は、2021年11月に7名の国立公園スタッフと35名のコミュニティ住民が参加してモニタリングも兼ねてデータ収集を行いました。その結果、これまでに植林した97%が概ね良好に成長しており、多くの木に果実が実っていることが確認できました。熟した果実が地面に落下し、その種から新しい芽が生えている様子も見られました。

過去3年分のデータを比較すると、それぞれの木が順調に成長している様子が窺えます。

木の種類	平均値					
	樹径(cm)			樹高(m)		
	2020年 1月	2021年 2月	2022年 1月	2020年 1月	2021年 2月	2021年 11月
ラサマラ (<i>Altingia excelsa</i>)	15.8	16.8	16.8	6.6	7.8	8.1
ヒメツバキ (<i>Schima walicii</i>)	11.7	13.5	13.7	7.6	8.1	8.6
ヒメタイサンボク (<i>Manglietia glauca</i>)	12.9	13.4	13.7	7.1	8.5	8.8
クスノキ科の一種 (<i>Neolitsea javanica</i>)	11.8	14.0	14.3	9.0	9.8	10.0
スリアン (<i>Toona sureni</i>)	20.4	21.1	21.3	11.6	12.2	12.7
ジタノキ (<i>Alstonia scholaris</i>)	22.4	22.4	22.6	8.9	9.5	9.8
ホルトノキ科の一種 (<i>Elaeocarpus pierrei</i>)	14.2	14.4	14.7	7.6	8.8	9.1
フトモモ科の一種 (<i>Eugenia clavimirtus</i>)	13.2	14.6	14.8	8.3	9.5	9.8

表：過去3年間（2020年～2022年）の木の樹径および樹高の比較



森林再生地でのモニタリング活動



樹径を測る様子

環境教育の実施

2021年8月、国立公園周辺地域の中学生25名を対象に野外環境プログラムを実施しました。プログラムの前半はグリーン・ウォールの取り組みや森林がもたらす地域への恩恵について話し合い、後半は実際に調査プロットを作って樹種ごとに木の本数を数えたりしました。参加した子ども達は自然について学ぶことを楽しんでいる様子で、積極的に様々な活動に取り組みました。



森林の重要性についてディスカッション



樹種や植生について学ぶ様子

グリーン・ウォール内の野生生物観測

グリーン・ウォールによって再生された森林は、地域の野生生物の貴重な生息地にもなります。プロジェクトでは、毎年グリーン・ウォールで野生生物のモニタリングを実施して、野生生物の数や種類の変化を追っています。昨年度は2022年7月に国立公園スタッフと地域コミュニティメンバーでモニタリングを行い、特にヘビの種類に着目して観察を行いました。今回の調査では目視により、4種類のヘビを確認できました（写真参照）。



アミメニシキヘビ
Phyton reticulatus



エダセダカヘビ
Aplopeltura boa



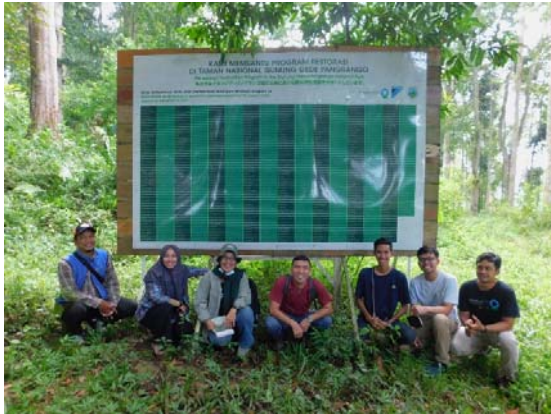
オオアオムチヘビ
Ahaetulla prasina



コウブリヘビの一種
Dendrelaphis pictus

看板

サイトには、プロジェクトの看板が 5 つ設置されており、毎月看板の状況もチェックしています。昨年度は 3 月から 4 月にかけて老朽化した看板②を新しいものに取り替え、新たにエアコンの省エネプログラムに貢献されたお客様の名前を追記しました。



看板①



看板②



看板③



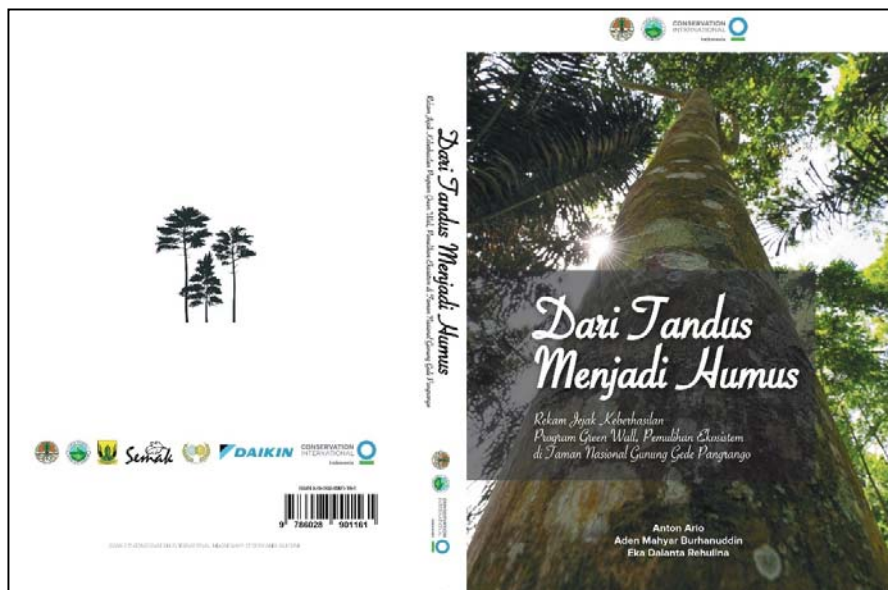
看板④



看板⑤

プロジェクトの経験を共有するガイドブックの出版

グリーン・ウォールの取り組みは、保全地域で生態系回復を行うために必要な経験を多く有しています。プロジェクトではこの14年間の取り組みをまとめたガイドブックを2022年6月に発行しました。タイトルは「不毛の大地から豊かな土壌へ〜グヌングデ・パングラngo国立公園におけるグリーン・ウォールの軌跡〜（“From barren to humus, a track record of the success of the green wall program in the Gunung Gede Pangrango National Park”）」で、グリーン・ウォールの経験がインドネシアの他地域でも応用されることを目指して、林野省および国立公園に100部以上配布されました。



完成したガイドブックの表紙

来年度の活動

来年度もグリーン・ウォール地域の植生や生態系モニタリング、看板の管理、周辺地域の学校を対象とした環境教育を継続して実施します。

※文中の写真は ©CI Indonesia

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。